

飼料用米の多収生産について

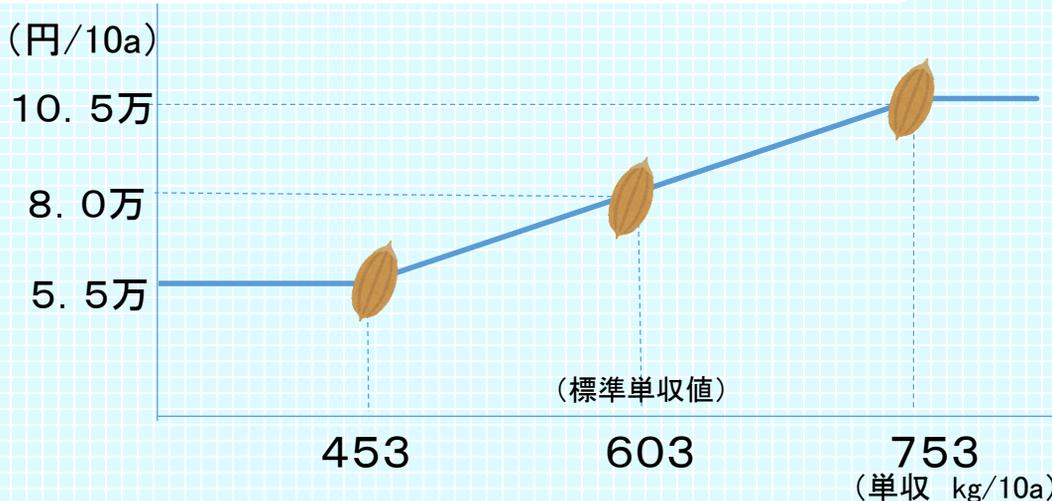
飼料用米の収益を確保するためには『多収』と『生産コスト低減』がポイントとなります。

倒伏させない無理のない範囲での多肥栽培と低コスト技術の導入などにより、収益の最大化を目指しましょう。



■飼料用米の数量払いについて 「水田活用の直接支払交付金(戦略作物助成)」単収が高いほど交付金が増える仕組みになっています。

飼料用米の
収量と交付
単価の関係



- ・標準単収値より150kg多い場合 10.5万円/10a
- ・標準単収値の場合 8万円/10a
- ・標準単収値より150kg少ない場合 5.5万円/10a

※グラフの標準単収値は、県平年収量としていますが、実際の標準単収値は地域農業再生協議会ごとに異なります。



■生産性を高める技術について

多収栽培と低コスト技術の導入には、国の「飼料用米生産コスト低減マニュアル」等が参考になります。

青森県産業技術センター農林総合研究所(黒石市)の試験データ



飼料用米多収日本一コンテスト

R3受賞者の決定

(農水省HP)



R2受賞者の取組概要

(農水省HP)



飼料用米生産コスト低減マニュアル

(農水省HP)



問い合わせ先

青森県農林水産部
農産園芸課
電話 017-734-9479